

資料17-2 「本検討委員会における就学前施設再編の基本的な考え方」の意見のまとめ

(1) 「中学校ブロックを基本単位とする」について

- 中学校ブロックを基本に考えることは妥当だと思いますので、(案)通りでいい。
- 基本はそうだと思います。
- 検討を行う単位としてはよいと思う。
- 再編の切り口としては、中学校ブロックを基本に考えることが適切である。しかしながら地域性や今までの就園率等を考慮して9という数にこだわることはない。
- 絶対的に再編が必要であるという、だれもが納得できる理由で再編するということが大前提でその基本単位を考えた場合、中学校ブロックで考えていくということは、イメージのしやすさという観点から適切であると思う。ただ、同じ桑名市内といっても、地域の様子は実にさまざまであるということから、単純に「中学校ブロック」でのみ考えていくことは危険だとも思う。一つひとつ丁寧に考えていく必要がある。
- 多少の増減は弾力的に検討すべきと考える。
- 整理統合するなら、やはり中学校ブロックが基本であると思う。子どもの成長を考え、今後幼・小・中の連携が益々必要となる。公立としての役割の一つである連携を考えることができる。送迎がしやすいお家がいいが、遠方になったことの諸事情で、公立の幼稚園教育を選びたいと思っても、条件的に選択できない人にどのように応えるといいか。
- 再編をするためには、止むを得ないと思います。
- 場所もあるとは思うが、現在公立幼稚園に入園している園児数から定員を決めることでいくつ必要になると考えるとよい。

(2) 「子どもたちの社会性を育むための集団を確保する」について

- 今回の再編にあたって最も重視しなければならない項目である。子どもの育ちを保障することが第一の命題である。
- 大切なことと思います。保護者の意見、地域の意見を考えると、すぐにその人数になるとは限りません。再編の基本的な考えに、5年くらいかかって近づけていくといいと思います。
- 提案通りでよいと思う。
- 集団の確保は是非必要と思います。
- 子どもの育ちを保障する視点において、一定の数を含めた子ども集団というものは必要と考える。
- (案) 通りでいいと思います。幼児期の土台は人と人とのつながり、ふれあいが特に大切だと思います。今までの検討委員会でも確認済みです。
- ここでいう「集団」とは平たく言えば「子どもの数」のことを指していると考える。確かに再編するのに1学年の人数が数名しかいないということでは格好もつかないし、実際問題適切な教育ができるのかと言うこともかなり難しい。したがって、適切な人数の確保は絶対的に必要なことではあるが、大事なことは確保のための方法をどうするのかということだと思う。理想としては保護者のニーズに対応した保育を展開していくということを知周することで、自然に人が集まると言うことが望ましい。
- 核家族少子化なので、大人（保護者）も子どももコミュニケーション力が弱い。特に幼児期に人とかかわる力をつけなくてどこでつくのでしょうか。人とかかわることは、生まれてすぐから一生です。勉強は学校へ行って学びますが、かかわる力は公式もなく、教えて身に付くものではありません。自分で、体で学んでいくものです、たくさんの人とかかわってこそ身に付くものです。そのためには、幼児期に大切に育てていく一つです。就学前になりますと、子どもも力がつき、遊びにおいても20～30人の友だちを必要とし、切磋琢磨して、自分に折り合いをつけてたくさんのことを学びます。それも対等の気持ちの接する同年齢が望ましいです。子どもたちのためにしっかりつけたい力です。
- 1クラス20～30人。以前の答申では、休園は10人以下が複数年継続した場合となっている。社会性を育むための人数となるとどうなのか？定員が何人になるのか分からないが、4. 5歳合計人数となっているが5歳児20名以上いても、4歳児10人程度でも4歳児クラスを作るのか？

(3) 「4歳児実施園を中心に検討する」について

- 4・5歳児実施園で検討することになるといいと思います。
- 提案通りでよいと思う。
- 現行の設置状況からみて、適当と思います。
- 複数年保育を実施するために、私立（あるいは保育所）との摩擦を最小限にするための手立ての一つだと考える。再編にあたってはさまざま考慮しなければならない事項があるということだが、「子どもの笑顔 保護者の安心」というキャッチフレーズは飾りではない。実際に再編に手をつけたときの地域とのハレーションは相当なものが予想される。きちんと説明責任が果たせるような進め方をしていくべき。
- (案) 通りで賛成です。
- 4歳児実施園は、概ね敷地・園舎の広さ等が確保される園であり、市内のバランスも考慮しながら配置されている。
- 今4歳児実施園を中心に考えるのは、話の流れからいうと当然かも知れないが、今の時代中学校ブロックを考えたとき、駐車場は必要条件となる。(送迎・・・たとえ近くの園であって用事に行く途中の送迎だったり、雨降りだったり、体調が悪かったり)のこともある。園開放・・・遠方から来る。参観日に祖父母を乗せてくるなど) 駐車場が確保できる園で、2年保育が可能な園を考える。検討が必要と思う。

(4) 「独立園化を図る」について

- 提案通りでよいと思う。
- 再編する以上、必要と思います。
- 既存の園舎を使うことが基本であるなら、「原則既存の園舎を使って独立園化をはかる」という文言に修正すべきだと思う。このままだと再編することで園が新設されると受け取られても仕方がない。
- (案) 通り。
- 旧市内は併設園で小学校長が園長を兼務しているが、今後は物理的にできなくなり園長としての役割も今以上になると考えられる。
- 小学校の校長と兼務というのは、どうしても幼稚園に専念できないので、独立園がいいと思います。
- 独立園化という魅力ある言葉ですが、乏しい独立園化だったら、保護者も納得しがたい。独立園になってよかったと思ってもらえる条件が必要かと思う。
- 職員体制はどうなるのか。独立園になることで、園長、主任、担任が配置になると人件費は変わらず、給食は今までどおり小学校から出なくなると、より経費が増えることになる。

(5) 「ブロックによっては、幼保一元化を検討する」について

- 現状に鑑み必要と思います。*政府の制度設計に関する最終案を注意深く見てほしい。
- 全くの私見を述べるなら、再編にあたってはすべてを幼保一元化施設にすべきだと思う。再編することで保護者の負担は今より確実に増える、その上幼保一元化しているところとしていないところがあると言うことは、不公平感を感じる。乱暴な物言いかもしれないが、既存の公立の保育所に幼稚園を乗っけるという形もありかもしれないと考える。いずれにしても「ブロックによっては・・・」の中味の優先順位は保護者のニーズから考えていくべき。
- 短期的には1～2ヶ所において実施（私立のない地域）し、中長期的に数ヶ所の計画を明示しては如何か。
- 国の子育て支援制度改革（幼保一元化）も具体的な案はなくストップ状態であるが、13年度から本格施行するとのことで、市も即、対応できるよう施設検討をしていく必要はあるかと思います。賛成です。
- 19年度答申から選択肢として幼保一元化施設を立ち上げることが示されており、国の「こども園構想」とも相まってぜひ実現したい施設である。その際、ブロックの実情を十分に考えて進めたい。
- 城東で、保育園、幼稚園を一緒にして幼保園を作っていくといいと思います。城東地区は、幼稚園と保育所で、17年より育ちのリレー、交流保育、合同保育を実施してきており、実績が積みあげられています。
- 提案通りでよいと思う。
- 幼児期は、できるだけ働かずに、専業主婦に近い状態で子育てに・・・と考える保護者も多い。公立幼稚園の幼児教育がいいと選択している人も多い。保護者が、自分のライフワークを考えながらも、子どものことを考えて選択できるように、絶対幼保一元化施設が必要である。公立幼稚園教育は生かされるべきである。
- 保育所も老朽化している保育所が多く、予算もあると思うので重ねて検討していただきたい。幼児中心でなく0歳児から考えた幼保一元化施設の検討を。

(6) 「市内24園は概ね半数程度を目途とする（公立幼稚園）」について

- 半数程度は妥当と思いますが、特にブロック内であっても地理的条件、地域性なども充分考慮して検討してほしい。* 場合によっては半数程度を上回ってもやむを得ないと思います。
- 「何をもって半数」なのか。数を提示するという事は、必ず具体的な根拠が必要になってくる。そういう意味でこの項目については、非常に説明不足である。
- 地域から園がなくなるのは住民にとっては寂しい事です。半数と言わず増園をお願いしたい。
- 概ね半数という数には少なすぎる多すぎる等の意見はあろうと思うが、目途としてはこの程度が適切である。ただ、なくなる園への説明はていねいにすべきである。また、これは第一ステージであり、状況を見て次の施策を考える必要もあろうかと考える。
- 一度24園から12園にして、再度減らすというのも大変なので、思い切って10園程度にしてはどうでしょうか？
- いろいろお考えがあつての半数ぐらいになったと思うので、具体的な案を見ながら検討していきたい。
- 半数では少ないと思う。ただし、議論をした上での結論ということになれば理解できる。
- 今後の4. 5年の推移からここ2年の間にも休園になる可能性がある園（あるかどうか分かりませんが）も含めた検討が必要だと思う。

(7) 「原則4歳児、5歳児の2年保育とするが、地域性を考慮し、5歳1年保育の園も含めて整備する」について

- 「地域性の考慮」の中味は具体的にどんなことがあげられるのか。「その地域には保育所がある」「私立の幼稚園（保育園）がある」という理由だけでは公立の幼稚園に通わせたいと考えている市民が納得するだろうか。再編後の園については基本的なことはすべて均一なサービスが受けられるようにすべきではないのか。保護者にとって重要なことが園によってまちまちという状況は、居住地域による差別とも受け取られかねない。
- (案) 通りで賛成です。
- 対象となる子どもたちの数、地域性を考慮して、5歳1年保育の園として残すことも有ると考える。
- それもありと思います。ところで幼保園は0歳から5歳ですね。
- 提案通りでよいと思う。
- 妥当と思います。
- 深谷幼稚園のように、“公立”として保育所・幼稚園がそれぞれの役割を果たしている園は現状で残していくと良い。

(8) 「幼保一元化施設は、3園程度を予定とする」について

- (案) 通りでいいと思います。
- 市内の状況を見ると9ブロック全てで幼保一元化施設というわけにはいかない。状況のそろったところで、いくつか開設するとよい。
- 多度、長島、城東、そして大山田と思いますがどうでしょうか？
- モデル的に実施していくのはよいと思う。
- 現状を検討し、可能な所から再編してほしい。
- 「3」の具体的根拠は何なのか。再編するならばすべて幼保一元化施設にすべきであろうと考える。
- 短期的には1～2ヶ所において実施（私立のない地域）し、中長期的に数ヶ所の計画を明示しては如何か。
- 数十年後は、この3園？が桑名の中心な“公立の施設”になっていくのではないかと思います。もしなるとすれば、保育所、幼稚園ともに協力して、次世代の子どもの育成に臨まないといけないと思う。桑名の子をどのように育てていきたいのかをしっかりとって幼保一元化を考えることが大切だと思います。
- 予定として3園はどこをさすのかを説明してほしいです。

(9) 「原則分団登園の廃止」について

- 再編により事実上分団登園は廃止せざるを得ないが、残った園については継続してもよいのではとも考える。ただし、公平性の観点から保護者・地域の理解が得られるのか疑問である。
- たとえば、5歳児単独の園が残ったとしたら、わざわざ分団をなくすことはないと思います。ほかは、たとえば陽和中学校区に日進が残っても、日進小学校区の子だけが分団登園は無理でしょう。
- 分団登園によい面もあれば、そうでない面もあるので、分団登園の継続か廃止かは悩ましい問題である。
- 分団登園は桑名の強みであり、父兄に支持されており、たとえ分団登園が廃止になっても分団登園が可能な地域については分団登園は残すべきと思います。*分団登校は地域性自主性、判断に任せてほしい。
- 再編が実行されれば、物理的に分団登園は当該の地域の園児しかできないことになるのは理解できる。しかし、このまま再編ということになれば、それは行政の都合で再編したということになり、(保護者のニーズに応える努力をしたが状況は改善されず、やむを得ず再編に踏み切ったという形ではないため)「どうして自分のところの幼稚園がなくなるのか」という不満の声が噴出するのは目に見えている。そんな中、地域住民からすれば「行政の都合でうちの近所の幼稚園がなくなったのに、送迎はバスも出さずに親任せとはいかがなものか」という声が出ることも当然予想される。原則分団登園の廃止は理解できる。しかしそれに付随する2点(通園区域の廃止以外)の物言いはあまりにも紋切り型である。保護者にとって大きな関心事になる園までの行き来のことだけに、何か工夫はできないのかと強く思う。再編に関わる肝である。
- 再編されなかった園における分団登園の廃止は疑問である。
- 保護者・地域の人たちは、あまりにも長年の併設の特色であるので、なくなるということに理解、納得がなされにくいように思う。残った園については、分団登園を残すということも考えてはどうか。一方学区外の方については、4歳から公立幼稚園を選んだ段階で、保護者送迎であることは理解してもらえらると思う。分団登園をなくすのであれば、地域・保護者にプラスとなる条件が必要かと思う。
- とても残念に思っています。
- やむを得ないと思う。
保護者送迎になり、登園、降園時間が今まで通りだとパートで勤務している人など、何らかの支障・不満が出るのではないか。幼稚園に入園の保護者でどのくらいの割合で就労されている人がいるのか校区がないので勤務先に近い幼稚園を選択できるのか。

(10) 「4、5歳児の定員の設定」について

- 設定することが、私立さんの安心にも繋がるので、定員の設定は必要だと思います。
- 5歳にも定員を設けたことによって入園できなくなるということは避けてほしい。
- 現在4歳児は申し合わせにより定員が設けられているので、5歳児も設けざるを得ないと思われます。*定員数は客観的な数値が必要と思います。
- 定員を設定することでどんなメリットがあるのか。主に私立に対する配慮以外の何者でもないこの事項について賛同する理由は何も見つからない。「定員にあぶれた子は保育所に通えばいい」との意見もあるが、保育所の数は少なく分布にも大きな偏りがある。そこまで送迎できない家庭があるということが考えられていない。預かり保育を実施したいがために、4、5歳児の定員を設定するというのなら、それはあまりにも安易でわかりやすく、でも決して市民に対してオープンにできないことではなかろうか。
- 今回の再編で、5歳児定員を何人にするかが課題である。長期的なスタンスでは、4歳児を含めよく検討する必要がある。
- 定員の設定・枠は定めなくていいと思います。希望の方はすべて入園できればと思います。
- 5歳児については全入という考え方できたが、預かり保育との兼ね合いで私立への影響が及ぶことも考えられるので定員の設定も必要と思われる。
- やはり独立園なので、複数年保育は絶対必要である。学年複数が望ましいが、今日までの話し合いからは、4歳児、5歳児1クラスずつで理解しないといけないと思っている。定数は各30名。しかし、地域によって異なると思われるので、4歳児5歳児は定数総枠で考えていくべきだと思う。そして数十年後にはまた再編の形をとっていくのだと思う。

(11) 「預かり保育の検討」について

- まずモデル的に実施していくのがよいと思う。
- 必要と思いますし、極めて重要と思います。例え1週間に2、3日でも、1日に2、3人も保護者の要望を受け入れてほしい。
- 預かり保育を実施することで、幼児の心身の健全な発達が図れる？保護者の子育て支援をする？目的に書かれていることがよくわからない。間接的な就労支援ということがメインの目的なのではないのか。預かり保育は絶対に必要なことだとは思いますが、時間設定が午後2時～4時というのが中途半端な感じがする。先日の委員会でいただいた別の資料によると、県内の公立幼稚園で57%の園が預かり保育を実施しており、そのうち23.5%が午後4時以降の預かりを実施している。再編という大なたを振るうならそれに見合う行政サービスを展開すべきであり、フルタイムで働く保護者でも預けられる体制があってもいいのではないかなと思う。
- 時間、長期休暇時の扱いについて、よく検討する必要がある。
- 保護者のニーズをうけ預かり保育は是非お願いします。
- 長島地区を始め、多くの保護者からの要望もあり、何らかの形で応えていく必要がある。ただし、就労支援でなく、子育て支援として考えるべきである。
- これは必ず必要です。幼稚園の聞き取りをしたとき、公立幼稚園はいいが、時間が短いので、行かせられないという方が大半でした。公立幼稚園を残し、生き生きとさせるためには、預かり保育は必ず必要です。幼稚園に通わせたい方にとっては、預かりは必要です。
- 今まで働く親には保育所(園)の子育て支援で預けることができている。私立幼稚園も働く人や用事のある人、夏季休業中など預かりをしている。専業主婦で、公立幼稚園教育を選択している保護者への子育て支援はなかった。時には用事で、また預けるところもなかったり、少しパートに出る人もある(しかし子どものために帰ってくる頃には迎えに行きやりたい)など必要な時代になってきている。公立幼稚園を選んだ上で、条件として希望する保護者に応えていくのは、公立の役割であると思う。
- 幼稚園の預かり保育の目的である子育て支援とは具体的にはどういうことをさすのか？就労している保護者にとっては就労支援としての要望も出てくるのではないかな。そうなると、私立との共存にも影響が出てくるので共通理解が必要になると思う。保育料 500 円は高いのでは。(一時保育の料金：3歳以上は1時間 200円)

(12) 「公私の保護者負担是正に向けて」について

- 保護者負担の是正は必要と思います。また私立幼稚園なども大きな役割を果たしているので再編によって経費が減額する場合…私立に対する助成の強化が必要と思います。
- 「是正」ということは、現状が適切ではないということになるかと思うが、果たしてそうなのか。私立幼稚園は公立幼稚園に比べて保育料が高いというのは社会通念上、普通のことだと考える。桑名市が他市町に比べ公私の保護者負担に大きく差があるというのなら、是正が必要なのかもしれないがこれまでの委員会でそういうことではないということが明らかになっている。また、私立幼稚園に通わせる保護者もそれを理解した上で通わせているのが現状であろう。だとするなら、この項目について本委員会で議論の対象とするべきなのか疑問である。
- 私立における負担軽減は必要であると思うが幼稚園再編後に検討してもよいのではないか。
- (公私格差のない)保育サービスを考慮しながら、今後検討委員会で話し合っていきたいです。
- 今後考えていかなければならない課題である。再編を進める中で合理的にできた財源をもとに是正に向けて検討していくことが大切である。
- 教育予算は注ぎ込まれるべきだと思うが、そうとばかりいかないのでどうしても保護者からの負担もやむを得ない。私学への補助金は、再編後は何らかの検討がなされるのではないのでしょうか。でもその約束と言われると、検討委員会で決定されることでもないので、発言を戸惑う。公立幼稚園の保育料を上げてもらわないという意見もあったが、今の景気低迷では、払うことも難しい家庭があることも理解していただきたい。公立幼稚園の保育料を上げないことは、行政としての対応だと思う。

(13) その他お気づきのことがありましたらお書きください。

- 旧桑名、多度、長島との合併があり、合併時の約束があるかも知れないが、桑名市全体の統一的な方針が出来ることを願っております。
- 前回資料17-2について、タイトルを「・・・再編について(案)」としてはどうか。
- 基本的な考え方に関する(案)は私自身全て妥当なお話だと思っていますが、私学さんが聞いていただけないのがとても残念でなりません。
- 立場によって考える角度が違うので意見合意ができていく部分はあるが、目指すところは同じであるので議論をしながら答申に向け努力していきたい。委員各位のご協力をお願いするところである。